

建築環境学科

令和5年度前期シラバス

建築設計デザインコース 1学年前期

筑波研究学園専門学校

学科別教科目（1学年 前期）

◆建築設計デザインコース

	教科名	授業科目名
1	産業情報	建築パソコンリテラシー
2	建築設計製図	設計製図演習 I
3	建築計画	住宅計画
4	構造力学	構造力学 I
5	建築一般構造	建築一般構造 I
6	建築材料	建築材料 I
7	建築生産	建築施工 I
8	建築法規	建築法規 I
9	その他	CAD 製図演習 I
10	その他	建築測量実習 I
11	指定科目外	構造力学演習

【授業科目名】	建築パソコンリテラシー																																																					
【教科目名】	産業情報	【単位数】	1 単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース ・ 建築土木施工コース																																																			
【学習時期】	前 期																																																					
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	30H (2H/週)																																																			
【授業担当者】	古谷 友宏 [実務経験: 建築設計事務所にてオフィスソフトによる書類の作成]																																																					
【学 習 目 標】	建設業界においても日々の書類の作成から企画書・見積書などはワープロや表計算ソフトを利用しており、ファイルのやりとりもパソコンを介して送受信されている。これらの基礎知識と技術を習得する。																																																					
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Windows 7 の概要</td> <td>リエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="2">Windows 7 の概要、アプリ、タスクバー、コントロールパネル</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="2">フォルダ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="2">Word入門、文字の入力、訂正</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td colspan="2">文章の入力・訂正、特殊な入力方法</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td colspan="2">文書の作成、文の入力・保存・読み込み</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td colspan="2">文書の印刷・複写・削除・移動</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td colspan="2">Wordの活用、編集機能、表の編集、ビジュアル文書、近況方向</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td colspan="2">Excelの起動と終了、データ入力、ワークシートの編集</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td colspan="2">ワークシートの書式設定、グラフ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td colspan="2">オートSUMボタンの利用、関数の挿入</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td colspan="2">データベース機能</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td colspan="2">データの集計</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td colspan="2">アプリケーション間のデータ活用、コピーと貼り付け</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td colspan="2">新機能の活用、総復習</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td colspan="2">期末試験 (実技試験のみ)</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	Windows 7 の概要	リエンテーション	2	Windows 7 の概要、アプリ、タスクバー、コントロールパネル		3	フォルダ		4	Word入門、文字の入力、訂正		5	文章の入力・訂正、特殊な入力方法		6	文書の作成、文の入力・保存・読み込み		7	文書の印刷・複写・削除・移動		8	Wordの活用、編集機能、表の編集、ビジュアル文書、近況方向		9	Excelの起動と終了、データ入力、ワークシートの編集		10	ワークシートの書式設定、グラフ		11	オートSUMボタンの利用、関数の挿入		12	データベース機能		13	データの集計		14	アプリケーション間のデータ活用、コピーと貼り付け		15	新機能の活用、総復習		16	期末試験 (実技試験のみ)	
回数	授業内容																																																					
1	Windows 7 の概要	リエンテーション																																																				
2	Windows 7 の概要、アプリ、タスクバー、コントロールパネル																																																					
3	フォルダ																																																					
4	Word入門、文字の入力、訂正																																																					
5	文章の入力・訂正、特殊な入力方法																																																					
6	文書の作成、文の入力・保存・読み込み																																																					
7	文書の印刷・複写・削除・移動																																																					
8	Wordの活用、編集機能、表の編集、ビジュアル文書、近況方向																																																					
9	Excelの起動と終了、データ入力、ワークシートの編集																																																					
10	ワークシートの書式設定、グラフ																																																					
11	オートSUMボタンの利用、関数の挿入																																																					
12	データベース機能																																																					
13	データの集計																																																					
14	アプリケーション間のデータ活用、コピーと貼り付け																																																					
15	新機能の活用、総復習																																																					
16	期末試験 (実技試験のみ)																																																					
【資格との関連】	Word 文書処理技能認定 (マイクロソフトソフトウェア技術者教育普及協会) Excel 表計算処理技能認定 (マイクロソフトソフトウェア技術者教育普及協会)																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。 課題点・期末点は演習課題で評価します。未提出は評価の対象となりませんので、必ず提出するように注意してください。																																																					
【教科書】	30 時間でマスター Windows7 対応 Word&Excel 2010 (実教出版株式会社)																																																					
【参考資料】	必修 検定ガイドブック (マイクロソフトウェア技術者普及協会)																																																					
【留意事項】	社会へでもパソコンを扱えることが必要条件ですが、在学中においても卒業設計などの授業で多く利用されます。例えばCADで作成した図面に文章や表計算を取り込んで作品を完成させる時など利用価値が高くなります。																																																					

【授業科目名】	設計製図演習 I																																		
【教科目名】	建築設計製図	【単位数】	3 単位																																
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース																																
【学習時期】	前期																																		
【年次】	1 年次	【授業時間数】	105H (7H/週)																																
【授業担当者】	川崎 龍太 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計] 赤城 真美江 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	木造戸建住宅図面を用いて各図面の役割と設計表現を理解した上で、各図面をトレースすることで木造図面の設計製図技術を習得する。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション 製図道具の紹介・使い方、線と文字の練習 (演習課題)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>配置図の解説</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>配置図トレース (演習課題)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>平面図の解説</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>平面図のトレース (演習課題)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>断面図の解説</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>断面図のトレース (演習課題)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>立面図の解説</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>立面図のトレース (演習課題)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>基礎伏図の解説・トレース (演習課題)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>床伏図の解説・トレース (演習課題)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>小屋伏図の解説</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>小屋伏図のトレース (演習課題)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>矩計図の解説</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>矩計図のトレース (演習課題)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※期末試験 (ペーパーテスト) は無し</p>			回数	授業内容	1	オリエンテーション 製図道具の紹介・使い方、線と文字の練習 (演習課題)	2	配置図の解説	3	配置図トレース (演習課題)	4	平面図の解説	5	平面図のトレース (演習課題)	6	断面図の解説	7	断面図のトレース (演習課題)	8	立面図の解説	9	立面図のトレース (演習課題)	10	基礎伏図の解説・トレース (演習課題)	11	床伏図の解説・トレース (演習課題)	12	小屋伏図の解説	13	小屋伏図のトレース (演習課題)	14	矩計図の解説	15	矩計図のトレース (演習課題)
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション 製図道具の紹介・使い方、線と文字の練習 (演習課題)																																		
2	配置図の解説																																		
3	配置図トレース (演習課題)																																		
4	平面図の解説																																		
5	平面図のトレース (演習課題)																																		
6	断面図の解説																																		
7	断面図のトレース (演習課題)																																		
8	立面図の解説																																		
9	立面図のトレース (演習課題)																																		
10	基礎伏図の解説・トレース (演習課題)																																		
11	床伏図の解説・トレース (演習課題)																																		
12	小屋伏図の解説																																		
13	小屋伏図のトレース (演習課題)																																		
14	矩計図の解説																																		
15	矩計図のトレース (演習課題)																																		
【資格との関連】	・ 一級・二級建築士の設計製図試験																																		
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点を総合して評価します。 課題点は演習課題で評価します。期限内提出は100点満、期限外提出は59点満点で算出し、平均化して点数をつけます。																																		
【教科書】	新装版 初めての建築製図 (学芸出版社) 建築製図基本の基本 (学芸出版社)																																		
【参考資料】	・新しい建築の製図 (学芸出版社) ・必携建築資料																																		
【留意事項】	課題は期限外提出が多くなることで平均点が合格基準点 (60点) に満たなくなった場合、単位習得が認められませんので、提出期限は守るようにしてください。また、未提出が1枚でもあると、全体評価が出来ず評価の対象外となるので、必ず全て提出して下さい。																																		

【授業科目名】	住宅計画																																				
【教科目名】	建築計画	【単位数】	2 単位																																		
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース ・建築土木施工コース																																		
【学習時期】	前 期																																				
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	30H（2H/週）																																		
【授業担当者】	原 智樹 [実務経験：建設会社にて建築物の設計]																																				
【学 習 目 標】	独立住宅と集合住宅の機能や役割などの基本的性質と、生活に必要な要素や空間構成計画などの基礎知識を習得する。計画演習では、実際の物件を細かく解析し、各室の計画手法や考え方の基本を読み解く。																																				
【授 業 計 画】	<table border="1" data-bbox="472 734 1425 1379"> <thead> <tr> <th data-bbox="472 734 587 779">回数</th> <th data-bbox="587 734 1425 779">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="472 779 587 813">1</td> <td data-bbox="587 779 1425 813">住宅計画の進め方 敷地計画、配置計画、平面計画 オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 813 587 846">2</td> <td data-bbox="587 813 1425 846">独立住宅の平面計画① 基本構成・個室・共同室</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 846 587 880">3</td> <td data-bbox="587 846 1425 880">独立住宅の平面計画② 家事空間・生理・衛生空間</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 880 587 913">4</td> <td data-bbox="587 880 1425 913">独立住宅の平面計画③ 収納計画、交通空間</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 913 587 947">5</td> <td data-bbox="587 913 1425 947">独立住宅の設備計画 給排水・衛生、冷暖房設備、電気設備、</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 947 587 981">6</td> <td data-bbox="587 947 1425 981">独立住宅の計画演習① 配置・平面計画の解析・研究</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 981 587 1014">7</td> <td data-bbox="587 981 1425 1014">独立住宅の計画演習② 立体計画の解析・研究</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1014 587 1048">8</td> <td data-bbox="587 1014 1425 1048">中間総復習 中間試験</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1048 587 1081">9</td> <td data-bbox="587 1048 1425 1081">二世帯住宅の平面計画① 親世帯・子世帯の計画</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1081 587 1115">10</td> <td data-bbox="587 1081 1425 1115">二世帯住宅の平面計画② 共有空間、家事空間の計画</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1115 587 1149">11</td> <td data-bbox="587 1115 1425 1149">二世帯住宅の平面計画③ 生理・衛生、収納空間の計画</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1149 587 1182">12</td> <td data-bbox="587 1149 1425 1182">集合住宅のあらまし 集合住宅の種類と機能</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1182 587 1216">13</td> <td data-bbox="587 1182 1425 1216">集合住宅の計画の進め方① 敷地計画、配置・住棟計画</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1216 587 1249">14</td> <td data-bbox="587 1216 1425 1249">集合住宅の計画の進め方② 住戸計画・構造計画・構造計画</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1249 587 1283">15</td> <td data-bbox="587 1249 1425 1283">総復習</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1283 587 1317">16</td> <td data-bbox="587 1283 1425 1317">期末試験</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	住宅計画の進め方 敷地計画、配置計画、平面計画 オリエンテーション	2	独立住宅の平面計画① 基本構成・個室・共同室	3	独立住宅の平面計画② 家事空間・生理・衛生空間	4	独立住宅の平面計画③ 収納計画、交通空間	5	独立住宅の設備計画 給排水・衛生、冷暖房設備、電気設備、	6	独立住宅の計画演習① 配置・平面計画の解析・研究	7	独立住宅の計画演習② 立体計画の解析・研究	8	中間総復習 中間試験	9	二世帯住宅の平面計画① 親世帯・子世帯の計画	10	二世帯住宅の平面計画② 共有空間、家事空間の計画	11	二世帯住宅の平面計画③ 生理・衛生、収納空間の計画	12	集合住宅のあらまし 集合住宅の種類と機能	13	集合住宅の計画の進め方① 敷地計画、配置・住棟計画	14	集合住宅の計画の進め方② 住戸計画・構造計画・構造計画	15	総復習	16	期末試験
回数	授業内容																																				
1	住宅計画の進め方 敷地計画、配置計画、平面計画 オリエンテーション																																				
2	独立住宅の平面計画① 基本構成・個室・共同室																																				
3	独立住宅の平面計画② 家事空間・生理・衛生空間																																				
4	独立住宅の平面計画③ 収納計画、交通空間																																				
5	独立住宅の設備計画 給排水・衛生、冷暖房設備、電気設備、																																				
6	独立住宅の計画演習① 配置・平面計画の解析・研究																																				
7	独立住宅の計画演習② 立体計画の解析・研究																																				
8	中間総復習 中間試験																																				
9	二世帯住宅の平面計画① 親世帯・子世帯の計画																																				
10	二世帯住宅の平面計画② 共有空間、家事空間の計画																																				
11	二世帯住宅の平面計画③ 生理・衛生、収納空間の計画																																				
12	集合住宅のあらまし 集合住宅の種類と機能																																				
13	集合住宅の計画の進め方① 敷地計画、配置・住棟計画																																				
14	集合住宅の計画の進め方② 住戸計画・構造計画・構造計画																																				
15	総復習																																				
16	期末試験																																				
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士 ・ 1 級・2 級建築施工管理技士 ・ 福祉住環境コーディネーター 2、3 級 																																				
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。																																				
【教 科 書】	・住まいの建築計画（学芸出版社）																																				
【参 考 資 料】	<ul style="list-style-type: none"> ・新建築設計ノート 住宅（彰国社） ・図説 やさしい建築計画（学芸出版社） ・最新住居学入門（実教出版） 																																				
【留 意 事 項】	設計製図演習Ⅰの自主設計に直結します。 また、二級建築士製図試験の課題は住宅が基本型となりますので しっかり学習して下さい。																																				

【授業科目名】	構造力学 I																																																					
【教科目名】	構造力学	【単位数】	2 単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース ・ 建築土木施工コース																																																			
【学習時期】	前 期																																																					
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	30H (2H/週)																																																			
【授業担当者】	大野 克典 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の構造計算]																																																					
【学 習 目 標】	建築物を構成している骨組（柱・梁・壁・床）に作用する力の流れを理解するための力学基礎理論（建築物に働く力、力の釣り合い、安定・静定、応力の種類と求め方など）を習得する。																																																					
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td colspan="2">建築物に働く力</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="2">力の基本 力</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="2">力の基本 力の合成と分解</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="2">力の基本 力の釣り合い</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>構造物と荷重および外力</td> <td>支点と節点</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>構造物と荷重および外力</td> <td>荷重および外力</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td colspan="2">反力の求め方 反力</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>中間復習</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>反力の求め方</td> <td>単純梁</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>反力の求め方</td> <td>片持梁</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>反力の求め方</td> <td>3ヒンジラーメン①</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>反力の求め方</td> <td>3ヒンジラーメン②</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>反力の求め方</td> <td>全般</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>安定・不安定</td> <td>構造物静定・不静定</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td colspan="2">総復習</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td colspan="2">期末試験</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	建築物に働く力		2	力の基本 力		3	力の基本 力の合成と分解		4	力の基本 力の釣り合い		5	構造物と荷重および外力	支点と節点	6	構造物と荷重および外力	荷重および外力	7	反力の求め方 反力		8	中間復習	中間試験	9	反力の求め方	単純梁	10	反力の求め方	片持梁	11	反力の求め方	3ヒンジラーメン①	12	反力の求め方	3ヒンジラーメン②	13	反力の求め方	全般	14	安定・不安定	構造物静定・不静定	15	総復習		16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	建築物に働く力																																																					
2	力の基本 力																																																					
3	力の基本 力の合成と分解																																																					
4	力の基本 力の釣り合い																																																					
5	構造物と荷重および外力	支点と節点																																																				
6	構造物と荷重および外力	荷重および外力																																																				
7	反力の求め方 反力																																																					
8	中間復習	中間試験																																																				
9	反力の求め方	単純梁																																																				
10	反力の求め方	片持梁																																																				
11	反力の求め方	3ヒンジラーメン①																																																				
12	反力の求め方	3ヒンジラーメン②																																																				
13	反力の求め方	全般																																																				
14	安定・不安定	構造物静定・不静定																																																				
15	総復習																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士 ・ 1級・2級建築施工管理技士 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教科書】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改訂版 図説 やさしい構造力学 (学芸出版社) 																																																					
【参考資料】																																																						
【留意事項】	建築物の構造的安全性を確保することは、「人命と財産を護る」ことにつながります。そのためには力学的な知識と技術が必要であり、力の流れを理解して「安全とは何か」を知ることに留意してください。																																																					

【授業科目名】	建築一般構造Ⅰ																																																					
【教科目名】	建築一般構造	【単位数】	2単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース ・建築土木施工コース																																																			
【学習時期】	前期																																																					
【年次】	1年次	【授業時間数】	30H(2H/週)																																																			
【授業担当者】	原 智樹 [実務経験：建設会社にて建築物の設計]																																																					
【学習目標】	建築構造の概要（工法の変遷、分類、留意点）、木構造（特徴、構造形式、軸組構法、桝組壁構法など）、木構造と仕上げ（外部仕上げ）、開口部の建築知識を習得する。																																																					
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>建築構法の変遷と分類</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>木構造1 木材の特徴（組織 性質 規格 材料）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>木構造2 軸組構法・接合・金物根切・地業・基礎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>木構造3 軸組 土台 柱 桁胴差</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>木構造4 構造耐力上必要な軸組の計算 貫 間柱 窓まぐさ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>木構造5 窓台 小屋組 和小屋 洋小屋 床組み 階段</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>木構造6 桝組壁構法 接合金物 接合方法 大断面集成材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>木構造 中間復習</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>仕上げ1 防水 外部仕上げ 屋根 瓦 金属 スレート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>仕上げ2 軒天井 庇 樋 外壁 板 塗 スレート ALC版</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>仕上げ3 内部 床仕上げ 内壁 天井 床の間周り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>仕上げ4 内部 収納空間 縁側 RC造・S造 階段</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>開口部1 開口部の構成 開閉方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>開口部2 外部開口部 内部開口部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>期末試験</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	建築構法の変遷と分類	オリエンテーション	2	木構造1 木材の特徴（組織 性質 規格 材料）		3	木構造2 軸組構法・接合・金物根切・地業・基礎		4	木構造3 軸組 土台 柱 桁胴差		5	木構造4 構造耐力上必要な軸組の計算 貫 間柱 窓まぐさ		6	木構造5 窓台 小屋組 和小屋 洋小屋 床組み 階段		7	木構造6 桝組壁構法 接合金物 接合方法 大断面集成材		8	木構造 中間復習	中間試験	9	仕上げ1 防水 外部仕上げ 屋根 瓦 金属 スレート		10	仕上げ2 軒天井 庇 樋 外壁 板 塗 スレート ALC版		11	仕上げ3 内部 床仕上げ 内壁 天井 床の間周り		12	仕上げ4 内部 収納空間 縁側 RC造・S造 階段		13	開口部1 開口部の構成 開閉方式		14	開口部2 外部開口部 内部開口部		15	総復習		16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	建築構法の変遷と分類	オリエンテーション																																																				
2	木構造1 木材の特徴（組織 性質 規格 材料）																																																					
3	木構造2 軸組構法・接合・金物根切・地業・基礎																																																					
4	木構造3 軸組 土台 柱 桁胴差																																																					
5	木構造4 構造耐力上必要な軸組の計算 貫 間柱 窓まぐさ																																																					
6	木構造5 窓台 小屋組 和小屋 洋小屋 床組み 階段																																																					
7	木構造6 桝組壁構法 接合金物 接合方法 大断面集成材																																																					
8	木構造 中間復習	中間試験																																																				
9	仕上げ1 防水 外部仕上げ 屋根 瓦 金属 スレート																																																					
10	仕上げ2 軒天井 庇 樋 外壁 板 塗 スレート ALC版																																																					
11	仕上げ3 内部 床仕上げ 内壁 天井 床の間周り																																																					
12	仕上げ4 内部 収納空間 縁側 RC造・S造 階段																																																					
13	開口部1 開口部の構成 開閉方式																																																					
14	開口部2 外部開口部 内部開口部																																																					
15	総復習																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・一級・二級建築士 ・一級・二級建築施工管理技士 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教科書】	初めての建築一般構造（学芸出版社）																																																					
【参考資料】	必携建築資料（実教出版）																																																					
【留意事項】	講義の時間には、建築構造の概要として建築構法の変遷、構造の分類、木構造について進めていきます。授業中は説明している内容を一つずつ良く理解してください。特に専門用語の理解が大切となりますので、理解不足のままですと、建築構造は身に付きませんので必ず質問をし、解らないままにしないようにしてください。																																																					

【授業科目名】	建築材料 I																																																					
【教科目名】	建築材料	【単位数】	2 単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース ・ 建築土木施工コース																																																			
【学習時期】	前 期																																																					
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	30H (2H/週)																																																			
【授業担当者】	勝田 純人 [実務経験：建設会社にて建築物の施工管理]																																																					
【学 習 目 標】	建築物に使用される主な構造材料（木材、鋼材、鉄筋、コンクリートなど）の特徴（組成・製法・用途・試験方法・規格など）の理解と利用法について習得する。																																																					
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>材料の概要1 歴史 規格 用途別分類</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>材料の概要2 建築と性能、品質</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>木材1 木材の使われ方 木材の種類と用途</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>木材2 木材の特徴</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>木材3 木取り 規格 等級 集成材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>木材4 等級 集成材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>コンクリート1 コンクリートの使われ方</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>コンクリート2 セメント 骨材</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>コンクリート3 水 セメント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>コンクリート4 変形 調査設計 耐久性 混和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>コンクリート5 コンクリートの種類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>コンクリート6 レミコン プレストコン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>鋼材1 鋼材の使われ方 種類 製鋼と加工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>鋼材2 鋼の性質と用途 規格</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>鋼材3 ステンレス鋼</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>期末試験</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	材料の概要1 歴史 規格 用途別分類	オリエンテーション	2	材料の概要2 建築と性能、品質		3	木材1 木材の使われ方 木材の種類と用途		4	木材2 木材の特徴		5	木材3 木取り 規格 等級 集成材		6	木材4 等級 集成材		7	コンクリート1 コンクリートの使われ方		8	コンクリート2 セメント 骨材	中間試験	9	コンクリート3 水 セメント		10	コンクリート4 変形 調査設計 耐久性 混和剤		11	コンクリート5 コンクリートの種類		12	コンクリート6 レミコン プレストコン		13	鋼材1 鋼材の使われ方 種類 製鋼と加工		14	鋼材2 鋼の性質と用途 規格		15	鋼材3 ステンレス鋼		16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	材料の概要1 歴史 規格 用途別分類	オリエンテーション																																																				
2	材料の概要2 建築と性能、品質																																																					
3	木材1 木材の使われ方 木材の種類と用途																																																					
4	木材2 木材の特徴																																																					
5	木材3 木取り 規格 等級 集成材																																																					
6	木材4 等級 集成材																																																					
7	コンクリート1 コンクリートの使われ方																																																					
8	コンクリート2 セメント 骨材	中間試験																																																				
9	コンクリート3 水 セメント																																																					
10	コンクリート4 変形 調査設計 耐久性 混和剤																																																					
11	コンクリート5 コンクリートの種類																																																					
12	コンクリート6 レミコン プレストコン																																																					
13	鋼材1 鋼材の使われ方 種類 製鋼と加工																																																					
14	鋼材2 鋼の性質と用途 規格																																																					
15	鋼材3 ステンレス鋼																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士 ・ 1級・2級建築・土木施工管理技士 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教 科 書】	「初めての建築材料」(学芸出版社)																																																					
【参 考 資 料】	必携建築資料(実教出版)																																																					
【留 意 事 項】	建築材料については教科書を使った基礎知識の習得とともに、実物のサンプルを見て、触れて確認しながら学んでいきます。建築に携わる上で建築材料について知らないとい何もしまらないので各材料をしっかり覚えることがとても大切になります。																																																					

【授業科目名】	建築施工 I																																																					
【教科目名】	建築生産	【単位数】	2 単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース ・ 建築土木施工コース																																																			
【学習時期】	前期																																																					
【年次】	1 年次	【授業時間数】	30H (2H/週)																																																			
【授業担当者】	勝田 純人 [実務経験：建設会社にて建築物の施工管理]																																																					
【学習目標】	施工管理（工程管理、安全管理、施工計画、工程計画など）及び工事監理等の基礎、工事進行の流れや施工技術（木造在来軸組工法・枠組壁構法・鉄筋コンクリート造）を習得する。																																																					
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>建築工事現場のあらまし</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="2">建設施工の特徴、施工に関わる人々</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="2">工程管理、安全管理、</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="2">木造在来軸組み工法による一戸建住宅、施工計画、工程計画</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td colspan="2">仮設工事、土工事、基礎工事</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td colspan="2">木材加工、棟上げ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td colspan="2">プレカット工法、屋根工事、足場工事、外壁工事</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>総復習</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td colspan="2">内部工事、設備工事、塗装工事、検査・引き渡し、</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td colspan="2">枠組み壁工法による住宅、枠組み壁工法、施工計画、工程計画</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td colspan="2">仮設工事、土工事・基礎工事、1階床・壁工事、</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td colspan="2">2階床・壁工事、小屋組工事、屋根工事、</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td colspan="2">断熱防湿工事、外壁工事、内部仕上工事</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td colspan="2">工業化住宅のあらまし</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td colspan="2">総復習、</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td colspan="2">期末試験</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	建築工事現場のあらまし	オリエンテーション	2	建設施工の特徴、施工に関わる人々		3	工程管理、安全管理、		4	木造在来軸組み工法による一戸建住宅、施工計画、工程計画		5	仮設工事、土工事、基礎工事		6	木材加工、棟上げ		7	プレカット工法、屋根工事、足場工事、外壁工事		8	総復習	中間試験	9	内部工事、設備工事、塗装工事、検査・引き渡し、		10	枠組み壁工法による住宅、枠組み壁工法、施工計画、工程計画		11	仮設工事、土工事・基礎工事、1階床・壁工事、		12	2階床・壁工事、小屋組工事、屋根工事、		13	断熱防湿工事、外壁工事、内部仕上工事		14	工業化住宅のあらまし		15	総復習、		16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	建築工事現場のあらまし	オリエンテーション																																																				
2	建設施工の特徴、施工に関わる人々																																																					
3	工程管理、安全管理、																																																					
4	木造在来軸組み工法による一戸建住宅、施工計画、工程計画																																																					
5	仮設工事、土工事、基礎工事																																																					
6	木材加工、棟上げ																																																					
7	プレカット工法、屋根工事、足場工事、外壁工事																																																					
8	総復習	中間試験																																																				
9	内部工事、設備工事、塗装工事、検査・引き渡し、																																																					
10	枠組み壁工法による住宅、枠組み壁工法、施工計画、工程計画																																																					
11	仮設工事、土工事・基礎工事、1階床・壁工事、																																																					
12	2階床・壁工事、小屋組工事、屋根工事、																																																					
13	断熱防湿工事、外壁工事、内部仕上工事																																																					
14	工業化住宅のあらまし																																																					
15	総復習、																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士 ・ 1 級・2 級建築施工管理技士 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教科書】	初めての建築施工（学芸出版社）																																																					
【参考資料】	必携建築資料																																																					
【留意事項】	「建築施工」における施工的業務には、施工管理と工事監理があります。双方の内容についての違いを理解し、根気強く学習しましょう。特に専門用語が多く、予習して講義に臨むことが必要です。疑問点については、質問して理解するようにして下さい。																																																					

【授業科目名】	建築法規 I																																																					
【教科目名】	建築法規	【単位数】	2 単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース ・ 建築土木施工コース																																																			
【学習時期】	前 期																																																					
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	30H (2H/週)																																																			
【授業担当者】	赤城 真美江 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																																					
【学 習 目 標】	建築法規の歴史・役割・体系の理解、建築基準法を中心とした建築関係法規の種類とその内容の把握（建築基準法の用語の定義と面積等の算定及び一般構造など単体規定）と、法令集の利用法を習得する。																																																					
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>建築法規の歴史・役割</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>建築法規の体系</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>建築物に関する用語（建築物・工作物の定義等）</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>防火に関する用語1（各種構造の定義等）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>防火に関する用語2（材料、建築物、防火設備の定義等）</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>建築手続きに関する用語（建築、大規模の修繕・模様替え等）</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>面積と高さ1（面積の算定等）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>面積と高さ2（面積の算定等）</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>中間復習</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>一般構造1（採光等）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>一般構造2（居室の換気等）</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>一般構造3（採光・換気演習、各面積算定演習）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>一般構造4（石綿等による換気、天井の高さ、床の高さ等）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>一般構造5（界壁の遮音、階段と傾斜路等）</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>期末試験</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	建築法規の歴史・役割	オリエンテーション	2	建築法規の体系	演習	3	建築物に関する用語（建築物・工作物の定義等）	演習	4	防火に関する用語1（各種構造の定義等）		5	防火に関する用語2（材料、建築物、防火設備の定義等）	演習	6	建築手続きに関する用語（建築、大規模の修繕・模様替え等）	演習	7	面積と高さ1（面積の算定等）		8	面積と高さ2（面積の算定等）	演習	9	中間復習	中間試験	10	一般構造1（採光等）		11	一般構造2（居室の換気等）	演習	12	一般構造3（採光・換気演習、各面積算定演習）		13	一般構造4（石綿等による換気、天井の高さ、床の高さ等）		14	一般構造5（界壁の遮音、階段と傾斜路等）	演習	15	総復習		16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	建築法規の歴史・役割	オリエンテーション																																																				
2	建築法規の体系	演習																																																				
3	建築物に関する用語（建築物・工作物の定義等）	演習																																																				
4	防火に関する用語1（各種構造の定義等）																																																					
5	防火に関する用語2（材料、建築物、防火設備の定義等）	演習																																																				
6	建築手続きに関する用語（建築、大規模の修繕・模様替え等）	演習																																																				
7	面積と高さ1（面積の算定等）																																																					
8	面積と高さ2（面積の算定等）	演習																																																				
9	中間復習	中間試験																																																				
10	一般構造1（採光等）																																																					
11	一般構造2（居室の換気等）	演習																																																				
12	一般構造3（採光・換気演習、各面積算定演習）																																																					
13	一般構造4（石綿等による換気、天井の高さ、床の高さ等）																																																					
14	一般構造5（界壁の遮音、階段と傾斜路等）	演習																																																				
15	総復習																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士 ・ 1級・2級建築施工管理技士 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教科書】	建築基準法関係法令集 各年度版（建築資料研究社） 改訂版「初めての建築法規」（学芸出版社）																																																					
【参考資料】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築法規用教材（日本建築学会） ・ 建築申請memo（新日本法規出版） ・ 図説やさしい建築法規（学芸出版社） 																																																					
【留意事項】	関連する教科としては、設計製図演習Ⅰ・建築計画Ⅰ（1年前期）、設計製図演習Ⅱ・建築計画Ⅱ（1年後期）、設計製図演習Ⅲ（2年前期）、卒業設計（2年後期）などがあります。																																																					

【授業科目名】	CAD製図演習 I																																		
【教科目名】	その他	【単位数】	2 単位																																
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース ・建築土木施工コース																																
【学習時期】	前期																																		
【年次】	1年次	【授業時間数】	60H（4H/週）																																
【授業担当者】	野口 成美 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計] 赤城 真美江[実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	授業の目的は、二次元 CAD を使って実際に建築図面がかけること。このため建築の図面を作成するCADのスキルの修得とこれを理解するためのCADの理論（座標系、レイヤー、データ変換など）を学習する。2Dの建築図面をかけるようになるための基礎知識の学習と技能の習得を行う。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション、画面各部の名称・役割</td></tr> <tr><td>2</td><td>Jw-Cadのコマンド解説1（マウスの基本操作・線の引き方等）</td></tr> <tr><td>3</td><td>Jw-Cadのコマンド解説2（伸縮・コーナー・消去・多角形等）</td></tr> <tr><td>4</td><td>Jw-Cadのコマンド解説3（2線・保存・文字・寸法等）</td></tr> <tr><td>5</td><td>Jw-Cadのコマンド解説4（複写・移動・出力等）</td></tr> <tr><td>6</td><td>木構造住宅の書き方1（配置図） 教科書トレース</td></tr> <tr><td>7</td><td>木構造住宅の書き方2（1階平面図） 教科書トレース</td></tr> <tr><td>8</td><td>木構造住宅の書き方3（2階平面図） 教科書トレース</td></tr> <tr><td>9</td><td>木構造住宅の書き方4（矩計図） 教科書トレース</td></tr> <tr><td>10</td><td>RC造の書き方1（平面図）講義</td></tr> <tr><td>11</td><td>RC造の書き方2（平面図）講義</td></tr> <tr><td>12</td><td>RC造の書き方3（平面図）演習</td></tr> <tr><td>13</td><td>RC造の書き方4（平面図）演習</td></tr> <tr><td>14</td><td>設計課題の作図演習1</td></tr> <tr><td>15</td><td>設計課題の作図演習2</td></tr> </tbody> </table> <p>※期末試験（ペーパーテスト）は無し</p>			回数	授業内容	1	オリエンテーション、画面各部の名称・役割	2	Jw-Cadのコマンド解説1（マウスの基本操作・線の引き方等）	3	Jw-Cadのコマンド解説2（伸縮・コーナー・消去・多角形等）	4	Jw-Cadのコマンド解説3（2線・保存・文字・寸法等）	5	Jw-Cadのコマンド解説4（複写・移動・出力等）	6	木構造住宅の書き方1（配置図） 教科書トレース	7	木構造住宅の書き方2（1階平面図） 教科書トレース	8	木構造住宅の書き方3（2階平面図） 教科書トレース	9	木構造住宅の書き方4（矩計図） 教科書トレース	10	RC造の書き方1（平面図）講義	11	RC造の書き方2（平面図）講義	12	RC造の書き方3（平面図）演習	13	RC造の書き方4（平面図）演習	14	設計課題の作図演習1	15	設計課題の作図演習2
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション、画面各部の名称・役割																																		
2	Jw-Cadのコマンド解説1（マウスの基本操作・線の引き方等）																																		
3	Jw-Cadのコマンド解説2（伸縮・コーナー・消去・多角形等）																																		
4	Jw-Cadのコマンド解説3（2線・保存・文字・寸法等）																																		
5	Jw-Cadのコマンド解説4（複写・移動・出力等）																																		
6	木構造住宅の書き方1（配置図） 教科書トレース																																		
7	木構造住宅の書き方2（1階平面図） 教科書トレース																																		
8	木構造住宅の書き方3（2階平面図） 教科書トレース																																		
9	木構造住宅の書き方4（矩計図） 教科書トレース																																		
10	RC造の書き方1（平面図）講義																																		
11	RC造の書き方2（平面図）講義																																		
12	RC造の書き方3（平面図）演習																																		
13	RC造の書き方4（平面図）演習																																		
14	設計課題の作図演習1																																		
15	設計課題の作図演習2																																		
【資格との関連】	CAD利用技術者（2級） 建築CAD（3級・2級）																																		
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教科書】	初めて学ぶCAD Windows版 Jw_cad で学ぶ（学芸出版社）																																		
【参考資料】	やさしく学ぶ Jw_cad（エクスナレッジ） 建築CAD検定試験 公式ガイドブック（エクスナレッジ）																																		
【留意事項】	・教科書により基本をしっかりとマスターし、演習で実践します。CADは習うより慣れる事が大切です。基本操作の反復練習をしっかりと行い、応用的な操作なども併せて覚えましょう。																																		

【授業科目名】	建築測量実習Ⅰ																																																					
【教科目名】	その他	【単位数】	1単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース ・建築土木施工コース																																																			
【学習時期】	前期																																																					
【年次】	1年次	【授業時間数】	45H（3H/週）																																																			
【授業担当者】	関口 政志 [実務経験：測量会社にて測量調査]																																																					
【学習目標】	建築に必要な測量学の基礎（測量の分類・測量に使用される単位・建築工事に必要な測量・実習に必要な計算演習）とその測量技術（レベルの操作方法、精度と誤差など）を習得する。																																																					
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>水準測量1（機器の名称・機器の据え付け）</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>水準測量2（器高式作業方法・計算方法）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>水準測量3（作業演習1-1 昇降式）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>水準測量4（作業演習1-2 昇降式）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>水準測量5（作業演習2-1 器高式）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>水準測量6（作業演習2-2 器高式）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>角測量1（機器の名称・据え付け）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>角測量2（作業演習1-1 基本編）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>角測量3（作業演習1-2 基本編）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>角測量4（作業演習1-3 基本編）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>角測量5（作業演習2-1 応用編）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>角測量6（作業演習2-2 応用編）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>角測量7（作業演習2-3 応用編）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>総括（講義内容のまとめ・整理）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>期末試験</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	水準測量1（機器の名称・機器の据え付け）	オリエンテーション	2	水準測量2（器高式作業方法・計算方法）		3	水準測量3（作業演習1-1 昇降式）		4	水準測量4（作業演習1-2 昇降式）		5	水準測量5（作業演習2-1 器高式）		6	水準測量6（作業演習2-2 器高式）		7	角測量1（機器の名称・据え付け）		8	角測量2（作業演習1-1 基本編）		9	角測量3（作業演習1-2 基本編）		10	角測量4（作業演習1-3 基本編）		11	角測量5（作業演習2-1 応用編）		12	角測量6（作業演習2-2 応用編）		13	角測量7（作業演習2-3 応用編）		14	総括（講義内容のまとめ・整理）		15	総復習		16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	水準測量1（機器の名称・機器の据え付け）	オリエンテーション																																																				
2	水準測量2（器高式作業方法・計算方法）																																																					
3	水準測量3（作業演習1-1 昇降式）																																																					
4	水準測量4（作業演習1-2 昇降式）																																																					
5	水準測量5（作業演習2-1 器高式）																																																					
6	水準測量6（作業演習2-2 器高式）																																																					
7	角測量1（機器の名称・据え付け）																																																					
8	角測量2（作業演習1-1 基本編）																																																					
9	角測量3（作業演習1-2 基本編）																																																					
10	角測量4（作業演習1-3 基本編）																																																					
11	角測量5（作業演習2-1 応用編）																																																					
12	角測量6（作業演習2-2 応用編）																																																					
13	角測量7（作業演習2-3 応用編）																																																					
14	総括（講義内容のまとめ・整理）																																																					
15	総復習																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・一級・二級建築士 ・一級・二級建築施工管理技士 ・測量士補 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教科書】	First Stageシリーズ測量入門（実教出版）																																																					
【参考資料】	やさしい建築数学（学芸出版社）																																																					
【留意事項】	建築現場では、測量機器を扱えることが建築工事の必要条件になりますので、反復練習をしてしっかり覚えましょう。また、現場では危険を伴う為、作業着や安全靴、ヘルメットの着用が必須となります。授業においても同様ですので、作業着や安全靴を必ず着用して授業に臨んで下さい。																																																					
【授業科目名】	構造力学演習																																																					

【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1 単位																																		
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース ・ 建築土木施工コース																																		
【学習時期】	前 期																																				
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	30H (2H/週)																																		
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験：建設会社にて構造物の設計]																																				
【学 習 目 標】	構造力学Ⅰで学習した内容（力の合成と分解、反力、軸方向力、せん断力、曲げモーメントなど）と連動し、本授業では実際に各項目ごとの計算問題を解き、正しく構造計算が出来るようになること。																																				
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>力の基本の計算演習 力の合成と分解、反力</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>力の基本の計算演習 力のつり合い</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>安定と静定の計算演習 構造物の安定・不安定</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>安定と静定の計算演習 静定・不静定</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>静定梁の計算演習 単純梁、片持ち梁</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>静定ラーメンの計算演習 片持ち梁系ラーメン</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>静定ラーメンの計算演習 単純梁系ラーメン</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>中間復習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>静定梁ラーメンの計算演習 3 ヒンジラーメン</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>静定トラスの計算演習 静定トラス</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>静定トラスの計算演習 接点法・切断法</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>構造材料の力学的性質の計算演習 応力度、ひずみ度、弾性体</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>構造材料の力学的性質の計算演習 断面1次、2次モーメント</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>構造材料の力学的性質の計算演習 断面係数</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>期末試験</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	力の基本の計算演習 力の合成と分解、反力	2	力の基本の計算演習 力のつり合い	3	安定と静定の計算演習 構造物の安定・不安定	4	安定と静定の計算演習 静定・不静定	5	静定梁の計算演習 単純梁、片持ち梁	6	静定ラーメンの計算演習 片持ち梁系ラーメン	7	静定ラーメンの計算演習 単純梁系ラーメン	8	中間復習	9	静定梁ラーメンの計算演習 3 ヒンジラーメン	10	静定トラスの計算演習 静定トラス	11	静定トラスの計算演習 接点法・切断法	12	構造材料の力学的性質の計算演習 応力度、ひずみ度、弾性体	13	構造材料の力学的性質の計算演習 断面1次、2次モーメント	14	構造材料の力学的性質の計算演習 断面係数	15	総復習	16	期末試験
回数	授業内容																																				
1	力の基本の計算演習 力の合成と分解、反力																																				
2	力の基本の計算演習 力のつり合い																																				
3	安定と静定の計算演習 構造物の安定・不安定																																				
4	安定と静定の計算演習 静定・不静定																																				
5	静定梁の計算演習 単純梁、片持ち梁																																				
6	静定ラーメンの計算演習 片持ち梁系ラーメン																																				
7	静定ラーメンの計算演習 単純梁系ラーメン																																				
8	中間復習																																				
9	静定梁ラーメンの計算演習 3 ヒンジラーメン																																				
10	静定トラスの計算演習 静定トラス																																				
11	静定トラスの計算演習 接点法・切断法																																				
12	構造材料の力学的性質の計算演習 応力度、ひずみ度、弾性体																																				
13	構造材料の力学的性質の計算演習 断面1次、2次モーメント																																				
14	構造材料の力学的性質の計算演習 断面係数																																				
15	総復習																																				
16	期末試験																																				
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士 ・ 1級・2級建築施工管理技士 																																				
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																				
【教科書】	図説 やさしい建築数学（学芸出版社）																																				
【参考資料】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新建築構造設計入門 -力学から設計まで-（実教出版） ・ 初めての<建築>数学（学芸出版社） 																																				
【留意事項】	構造力学演習Ⅰは、構造力学Ⅰの講義内容理解を深めるための演習です。本講義で解らない内容はそのままにせず、演習で必ず質問して理解することが重要です。																																				